

計1000人が来場

世界遺産
週間で 本宮などで3周年記念イベント

「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録3周年を記念し、和歌山県は世界遺産週間（7月1～7日）にあわせ、県内各地でさまざまなイベントを開催。計約1000人が来場した。

田辺市本宮町の世界遺産センターでは2日に世界遺産マスターによる那智参詣曼荼羅絵解き、3日に杖作り体験、6日に健康ウォーキング（発心門王子）

本宮大社）、7日に「癒やしのコンサート With 佐野安佳里 & 世界遺産セミナー」が開催された。

週間中、温泉コーヒのサービスや来場記念オリジナル缶バッジが

平成19年7月12日付
南紀州新聞

プレゼントされたほか、七夕飾り作りや年輪当てクイズ、誕生日お祝い「もちまき」などのイベントがあり、約600人が来場した。

年輪当てクイズの正解者、柿原良子さん（37）＝田辺市本宮町大居＝と須川のぶ子さん（58）＝同市本宮町下湯川＝には和歌山健康センター「熊野で健康ラボ」から万歩計、特別賞の浦亜佑香さん

（9）＝同市本宮町本宮＝には世界遺産センターから図書カードが贈呈された。

そのほか、1日の「高野山町石ウォーク & 声明LIVE」には約200人が参加し、丹生都比売神社と高野山壇上伽藍を歩いた。4日に有田地方（有田振興局）、5日に那賀地方（那賀振興局）で開催された世界遺産セミナー「世界遺産の魅力と祈りの道と文化的景観」には各約60人が参加した。



田辺市本宮町の世界遺産センターで行われた世界遺産セミナー